

2023 年度 (令和 5 年度) 学校評価自己評価表

中央 中学校区

校番 53 福山市立 西深津小 学校

最終更新日 2023年(令和5年)4月13日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

ビジョン 「福山100N教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	スキル・・・ A【学びに向かう力】 B【課題発見・解決力】 倫理観・・・ C【自己肯定感】
・コロナ禍の中、各学校感染拡大防止策を考え工夫されて学習、行事に取り組まれている。各小学校の授業参観から子ども主体の学びを育む様子が感じられた。引き続き子どもたちの主体性を育む取組を進めてほしい。 ・評価項目の8項目において、十分満足、概ね満足できるという肯定的評価をいただいております、引き続き努力してほしい。	○各学校において、子どもの主体の学びづくりの中で主体性が育ちつつある。 ○小中で授業研究をすすめ、自分の考えをもち深め、対話する力をつけてきている。 ●子どもたちが他者と協働して問題解決する力をつけていく必要がある ●不登校傾向にある児童生徒数の出現率が中学校で高い。	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	ふるさとを愛し、地域の中で、伸びやかにたくましく成長している
		中学校区として統一した取組等	1 校区合同で実施する授業研究 2 生徒会、児童会による「いじめSTOP集会」や「あいさつ運動」の実施 3 校区校長会、校区教頭会、校区各主任会等を通しての連携

III 自 校

ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	スキル・・・ A【学びに向かう力】 B【課題発見・解決力】 倫理観・・・ C【自己肯定感】
高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成	めざす子ども像	低 A 「学ぶこと」のおもしろさを感じ、学んだことを身の回りの生活につなげて考えたり、生活の中に取り入れたりしようすることができる。 B 身の回りの事象から興味・関心・疑問をもとに課題を見付け、学んだことや経験をもとに課題を解決しようすることができる。 C 身の回りの他者や環境との関わりの中で、自分の良さを見付けたり、自分
学校教育目標		中 A 様々な存在であることを感じたり、学んだことを体験したことを生活に活かそうとすることができる。 B 自分なりの課題を設定し、見通しをもって方法を選択し、他者と考えを交流しながら、解決しようすることができる。 C 他者や周りの環境との関わりの中で、自分自身をみつめ、自分の良さや特徴を受け入れることができる。
「学ぶ楽しさ、生きる喜び」を持つ子どもの育成		高 A 「学ぶこと」のおもしろさを認識し、学んだことや考えたことを生活や学習に活用しようすることができる。 B 自ら課題を設定し、手段や情報を自分で選択し、多様な他者と協働的に活動しながら課題解決に向かい、新たな課題を見つけることができる。 C 自分自身を理解し、自分の目標や夢に向かって挑戦し、自尊感情を高める
現 状	研究	テーマ 主体的・対話的で深い学びの創造 ～学びをつなぐ 思考をつなぐ 楽しさを深める～ 内容等 ①児童理解を深め、一人一人の学び力を引き出す。 ②ファシリテーターとして、主体的な学びを創る授業力を高める。
〈児童生徒〉 ○児童が主体的に活動を工夫し、計画・実行する力がついてきている。 ○異学年交流活動を通して、相手意識をもった行動が増えてきた。 ●自分や相手を大切にしている行動を、自ら考えて行うことが難しい場面がある。 ●自己肯定感が低い傾向にある。 〈授業〉 ○自主学習で、自分で課題を決めて追及する児童が増えてきた。 ○児童が課題を選び、対話を通して楽しみながら取り組む学習活動ができつつある。 ●児童が学びを深め、主体的に学びたいと思える授業づくりが必要である。 ●個別最適化・協働的な学習を進め、一人一人の学びに向かう力を高めるとともに、基礎学力の定着を図る必要がある。	めざす授業の姿	・児童が自ら課題を設定し、対話を通じて自己の考えを広げながら学びを展開する授業 ・児童がこれまでの学びや生活経験と新しく学んだことを関連付け生きて使える知識・技能を身に付ける授業 ・児童同士が学びや考えを互いにつなげ、学びを深める授業